

浜名湖ボートレース企業団



 **BOAT RACE** 浜名湖

公営競技の概要



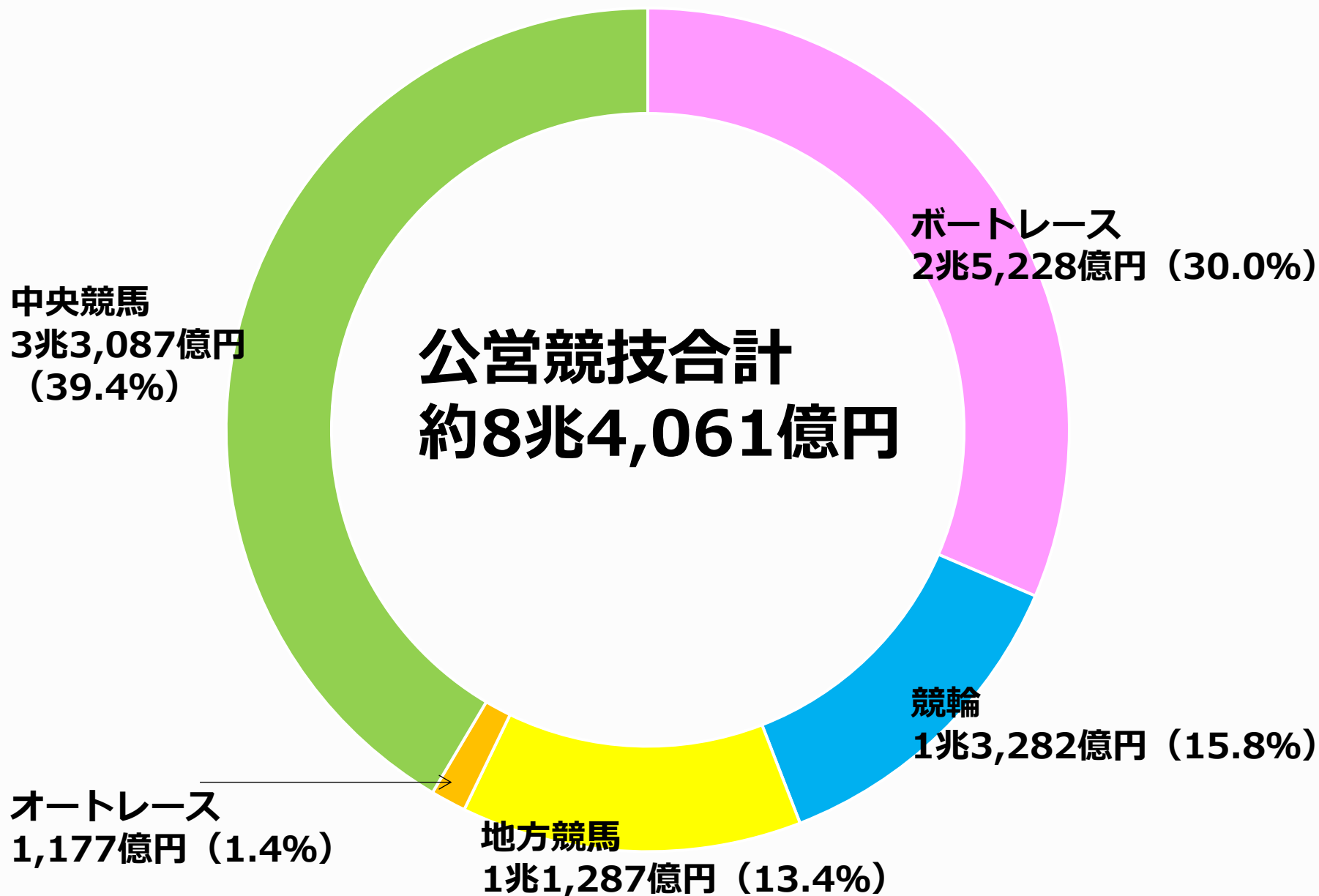
ボートレースを開催しているのは、地方自治体で、職員は地方公務員です。

ボートレースには監督官庁があり、国土交通省が担っています。

なお、職員の舟券の購入は法令により禁止(浜名湖含む全24場)されています。

種類	ルール	出走数	場数
ボートレース	1周600mのコース（水上）をボートで3周し、勝舟を決める	6艇	24場
中央競馬 地方競馬	決められたコース（芝・ダート・障害）を馬に乗って走り、勝馬を決める	10～18頭	中央競馬：10場 地方競馬：15場
競輪	決められたコース（バンク）を自転車 で周回し、勝者を決める	7～9車	43場
オートレース	1周500mのコース（バンク）をバイクで周回し、勝車を決める	8車	5場

公営競技の売上（令和6年度実績）



ボートレースの概要

6艇の勝負

ボートレースは6艇のボートでゴールを競う競技。

ボートレーサーのユニフォームやボートの色は、

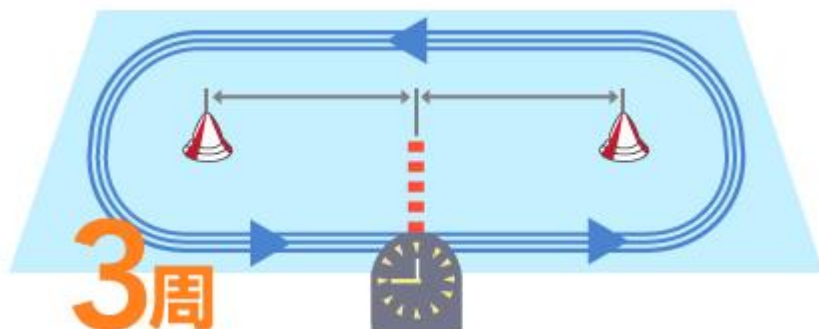
1号艇 = 白 2号艇 = 黒 3号艇 = 赤
4号艇 = 青 5号艇 = 黄 6号艇 = 緑

と決められている。



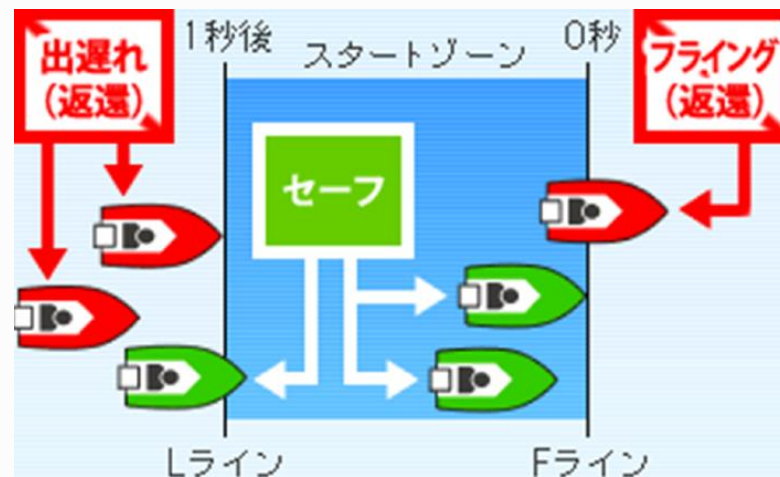
左周りで3周

レースはスタートラインを通過後、1マーク・2マークを順番に巡回して、レースコースを3周（1周×3=1,800m）し、入着順位を決める。

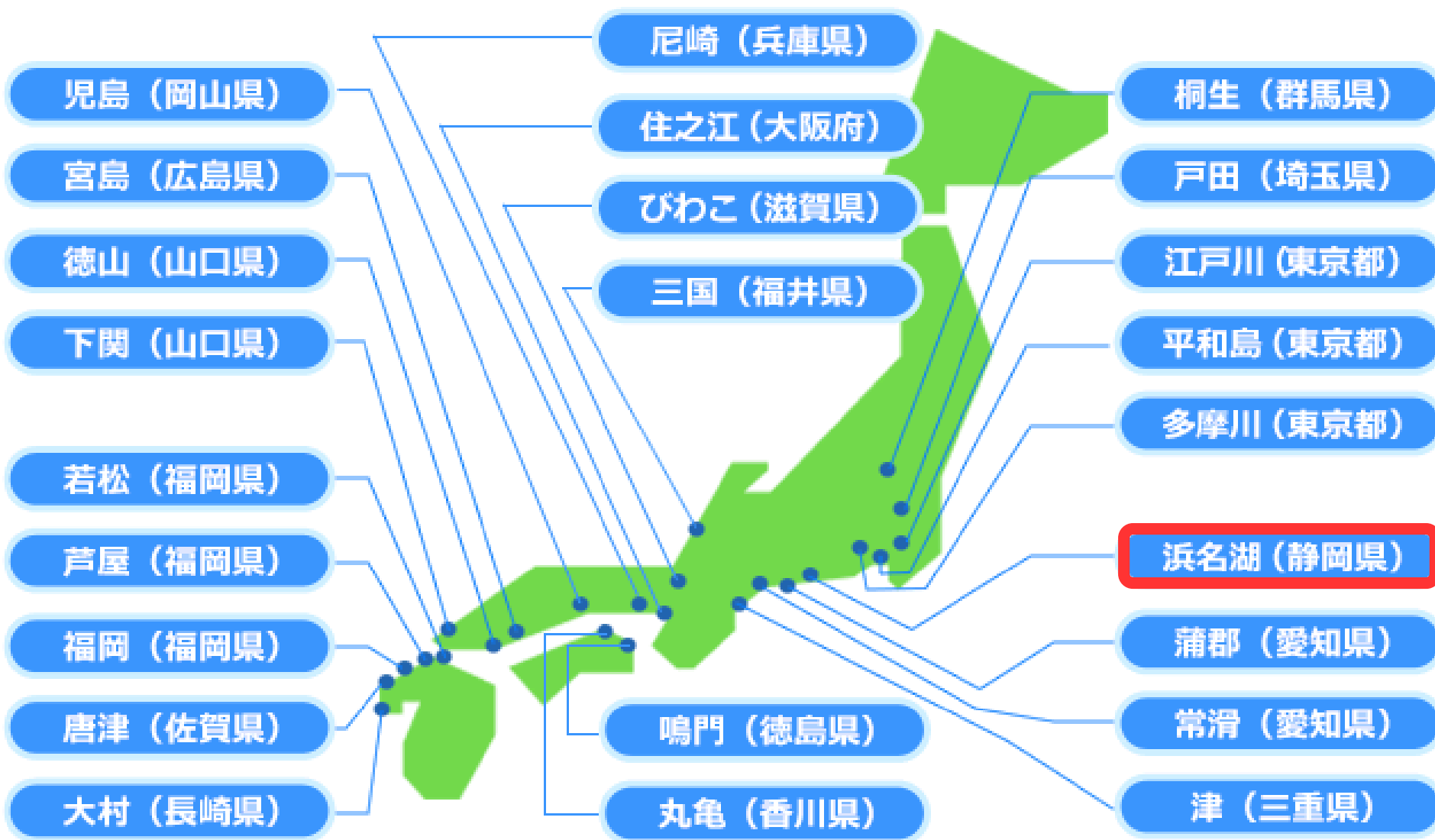


独特なスタート方法

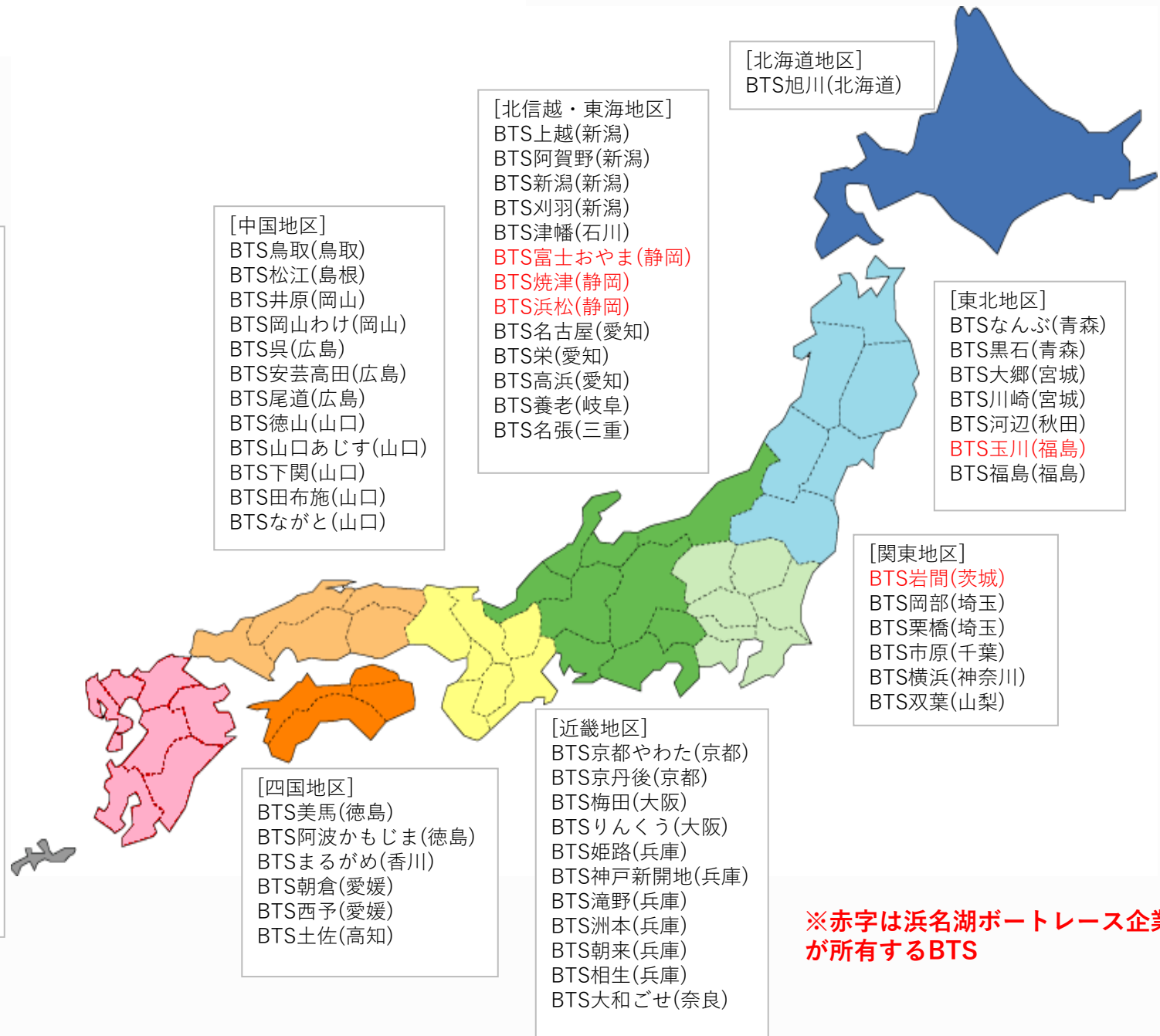
ボートレースのスタートは、陸上競技のように「よーいドン」というスタートとは違い、決められた時間内にスタートラインを通過する**フライングスタート方式**が採用されている。



全国のボートレース場（24場）



ボートレースチケットショップ



※赤字は浜名湖ボートレース企業団が所有するBTS

ボートレーサーの概要



(1) ボートレーサーのデータ

ボートレースナンバー 2025/04/01時点

ボートレーサー人数	女子レーサーの数
1,616人	272人
最年長優勝記録	現役最年長レーサー
71歳 加藤 峻二 1485	75歳 高橋 二郎 2538
現役最年少レーサー	生涯最高獲得賞金
17歳 出穂 和鼓 5391	41.33億円 松井 繁 3415

(3) ボートレーサーのランク

A1~B2のランク

級別	定率	2連対率・3連対率・勝率	事故率	最低出走回数
A1級	20%	2連対率30%以上、3連対率40%以上で勝率上位の者	0.70以下	90回以上
A2級	20%	2連対率30%以上、3連対率40%以上でA1級を除く勝率上位の者	0.70以下	70回以上
B1級	50%	勝率2.00以上で、A1級およびA2級を除く勝率上位の者	0.70以下	50回以上
B2級	A1級、A2級およびB1級以外の者			

(2) ボートレーサーになるためには

①ボートレーサー養成所の入所試験に合格

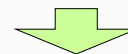


②1年間の厳しい養成訓練

基礎・応用・実践課程



③卒業試験に合格



④ボートレーサーとしてデビュー

(4) レースのランク

グレード	年間回数	優勝賞金	主なレース
SG	8回	2,000万円～1億1千万円	グランプリなど
強豪が揃うボートレース界最高峰のレース			
GI	35回前後	640万円以上	プレミアムG1・周年記念など
原則としてA1レーサーのみが出場できるレース			
GII	10回前後	500万円以上	秩父宮妃記念杯・モーターボート大賞など
G1に準ずる強豪が集まるレース			
GIII	50回前後	120万円以上	企業杯・オールレディース・マスターズリーグなど
オールレディースやイースタンヤング・ウエスタンヤング、企業協賛レース			
一般戦	毎日	80万円以上	上記以外のレース
地元戦は賞金がやや高い			

名称：**浜名湖ボートレース企業団**

所在地：**湖西市新居町中之郷3727-7**

設立：**昭和28年3月**

出資金：**7,471万円**

職員数：**男性44名 女性8名**

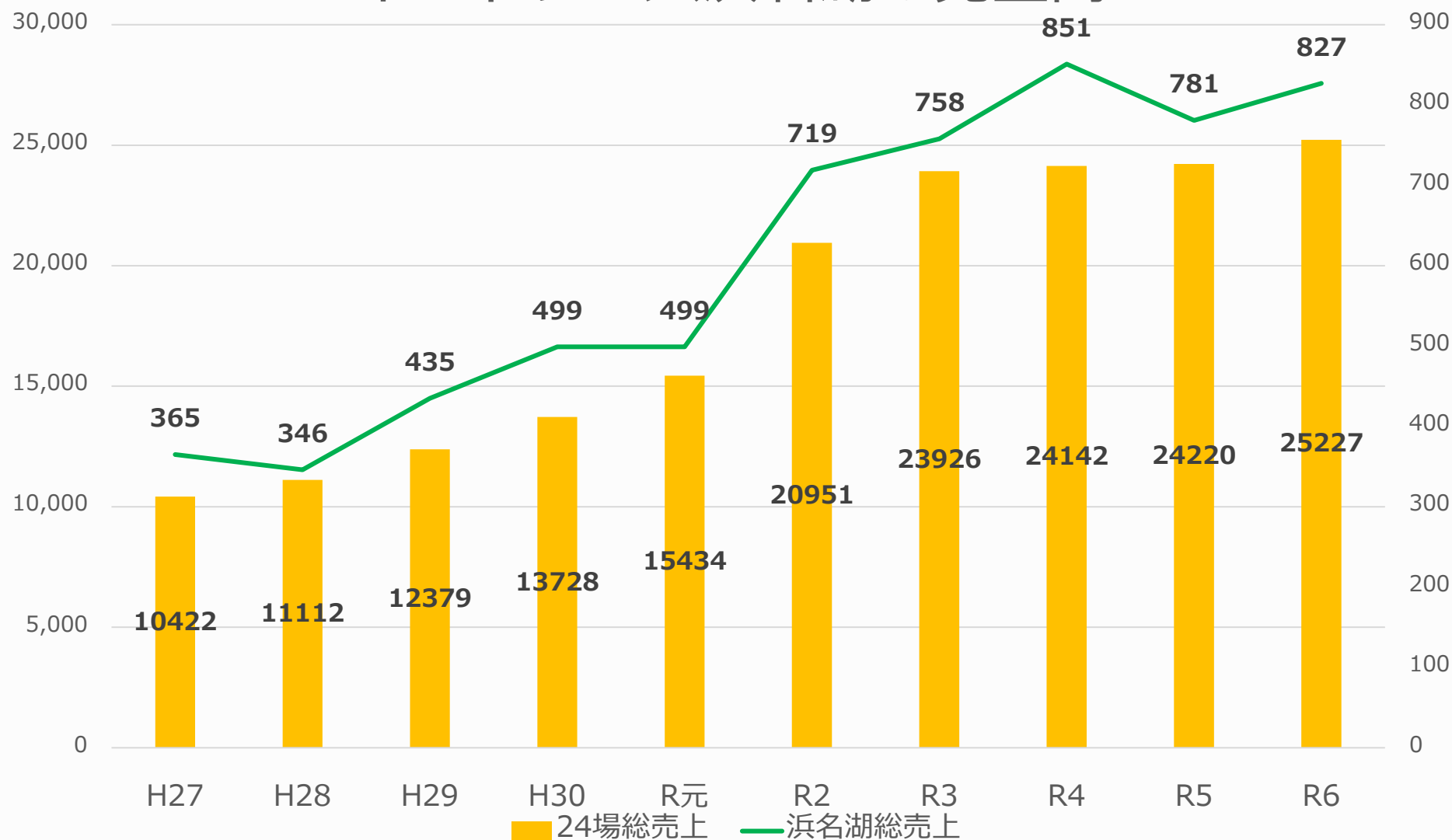
計52名（令和7年4月現在）

※職員は地方公務員

平均年齢：**40.9歳**

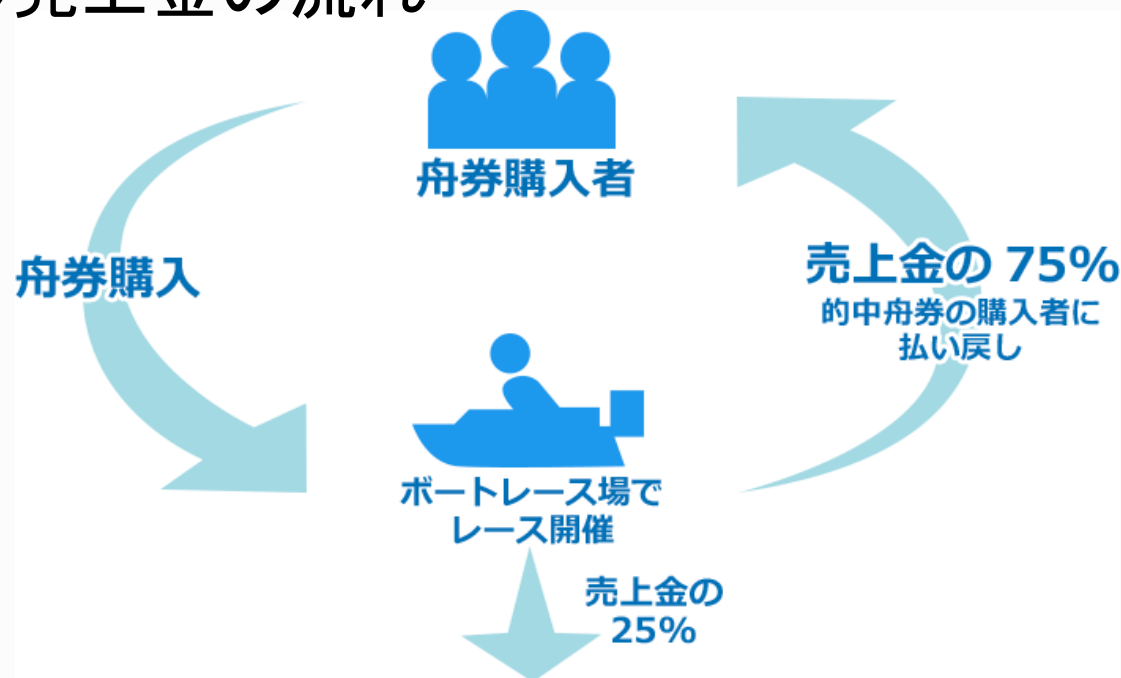
(単位:億円)

ボートレース浜名湖の売上高



ボートレースの社会貢献

ボートレースの売上金の流れ



日本財団への交付金	社会貢献活動や災害復興支援事業等に役立てられています。	約2.8%
(一財)日本モーターボート競走会への交付金	選手管理、公正かつ安全なレースの実施のために使われています。	約1.3%
地方公共団体金融機構への納付金	上下水道の整備など、地域で役立てられています。	約0.2%
開催経費	管理費、人件費、施設費、選手への賞金などに使われています。	実費
施行者収益金	地方自治体の予算に組み入れられ、 公共施設の充実化、地方財政の改善 に役立てられています。	残高

浜名湖ボートレース企業団の社会貢献

ボートレースの収益は地方自治体の大きな収入源になっています！



浜名湖ボートレース企業団



収益金の寄与

配分金の累計額
(昭和28年から令和5年まで)

合計：約1,485億円

(浜松市：約912億円)

(湖西市：約573億円)



浜松市・湖西市



社会福祉の増進

地方財政の改善

公共施設の充実化

<R5年度収益使途状況>

●浜松市 (合計12億円)

- 教育費：65,616,000円
- 保険衛生費：139,412,000円
- 民生費：989,970,000円
- 産業経済費：5,002,000円

●湖西市 (合計8億4千万円)

教育費：44,718,000円	土木費：244,489,000円
消防費：77,517,000円	保健衛生費：199,692,000円
民生費：3,231,000円	産業経済費：27,255,000円
その他：243,098,000円	

これらの費用の他に公営住宅費、災害復旧費、公害対策費があるよ！



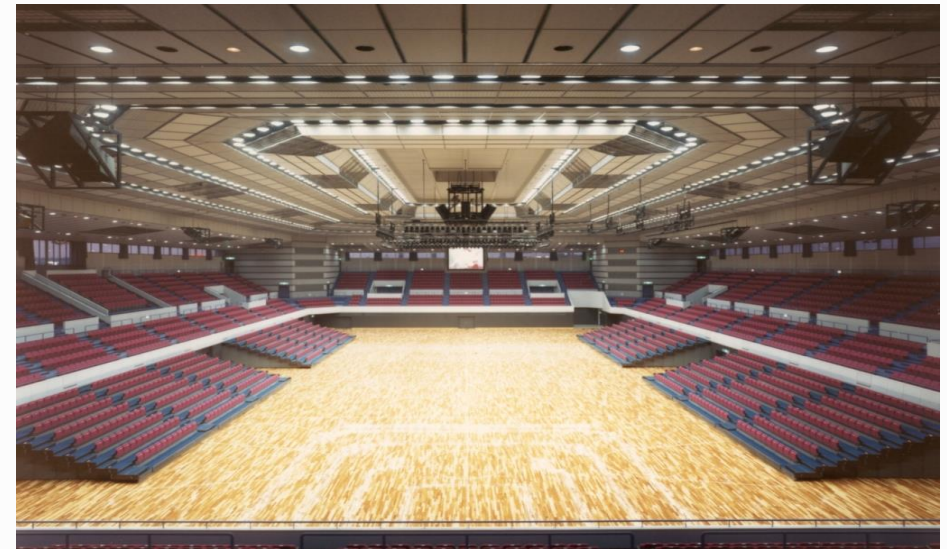
身近では、このように役立てられています!

浜 松 市

教育費：スポーツ施設事業

競技力や体力の向上、各種大会の開催といったスポーツの振興や芸術・文化の創造を図るために、浜松アリーナを建設しました。

幅広い年代の方のスポーツ振興はもとより、国際的な競技大会や様々なイベントが開催可能な施設であり、特にメインアリーナは高水準の音響・照明設備を備えた施設となっています。



保健衛生費：救急医療事業



浜松市夜間救急室は、昭和49年に全国に先駆けて開設されました。

365日休まず、午後8時から翌朝7時まで浜松市医師会に所属する内科・小児科・外科の医師が1日4人ずつ交代で診療を行っています。

年間およそ2万人、1日平均50人余りの患者が訪れる夜間救急室は、安心して暮らす上で、重要な存在です。

土木費：駅周辺整備事業



課題であった鉄道による地域の分断はJR新所原駅の橋上化と南北自由通路の開通によって解消され、より一体的なまちづくりが実現可能となりました。

また、駅前広場には高齢者や車椅子の方、妊婦の方などが乗降しやすい「おもいやりスペース」が配置され自由通路内のエレベーター・エスカレーターと合わせ、誰もが利用しやすい施設となっています。

南海トラフ巨大地震等による津波から避難することを目的とした湖西市住吉地区命山を整備しました。

平常時は誰でも入れるように開放していることから、公園のように使うこともできます。

いざというときには命を守る避難場所として、普段はちょっとした憩いの場として地元から愛される施設となっています。

消防費：津波対策事業



(浜名湖ボートレース企業団職員)

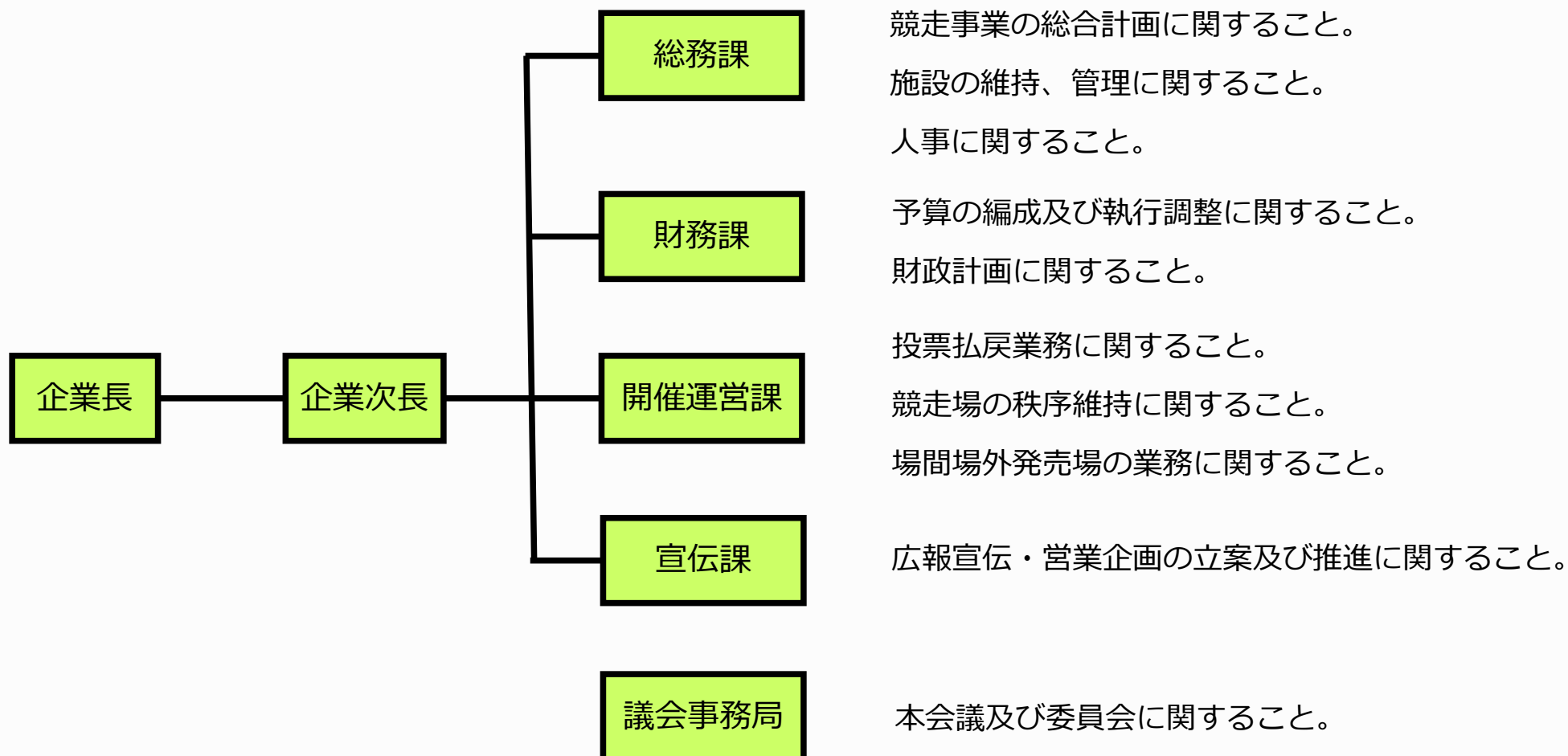
- 主に、地方（湖西市及び浜松市）の財政の改善、社会福祉の増進を目的に経営する地方公営企業
- 経費については、舟券又は入場料の料金収入によって維持され、独立採算制により経営
- 民間企業に近い面もあり半官半民

(市役所職員)

- 地域住民の日常生活に必要な行政サービスを行う
- 経費については、賦課徴収される租税によって賄われる

◆ 配属先と主な業務内容

入団後は、総務課、財務課、開催運営課、宣伝課、議会事務局のいずれかに配属され、主に経営企画・財務・人事・宣伝戦略に関する業務に携わっていただきます。



浜名湖ボートレース企業団の組織



企業団は4課1局制で組織され、各課には複数のグループが設置されています。

各グループは、グループ長の指揮の下、日々業務を行い、モーターボート事業の運営をしています。

総務課 (16名)	財務課 (7名)	開催運営課 (12名)	宣伝課 (14名)	議会事務局 (1名)
経営企画グループ	経理グループ	投票・入場グループ	広報宣伝グループ	
会務グループ	財政グループ	広域発売グループ	本場活性化グループ	
人事グループ		保安・美化グループ	番組・管理グループ	
建築・機械グループ		BTS玉川 運営管理グループ		
電気グループ		BTS岩間 運営管理グループ		

プロジェクトを立ち上げ、
20～30代の若手職員を中心に
アイデアを出しあいながら
企画を進めることもあります



◆勤務条件



給料

初任給:232,368円 ※地域手当含む
昇給:平均4,386円(年1回)

諸手当

通勤状況、住まいの状況、家族の状況等に応じて、通勤(距離に応じて支給)、住居(最大28,000円)、扶養、時間外勤務などの諸手当が支給されます。

期末・勤勉手当(ボーナス)

年間4.60箇月分が支給されます。 ※令和6年度

勤務時間

原則として、午前8時45分から午後5時30分まで。(実働7時間45分)
ただし、レース進行時間により異なる場合があります。 ※月平均残業2.9時間 令和6年度実績

休日・休暇等

週休2日制(年間休日124日) ※年によって変動あり
年次有給休暇は年間20日付与 [平均取得率:87.7%(17.4日)] 【令和6年実績】
リフレッシュ休暇(連続する3日間の休暇) [取得率:100%]
特別休暇(結婚、出産、忌引、病気療養等)
育児休業、育児部分休業、介護休暇制度有り

階層別研修

- 《1年目～》 新規採用職員研修...他市町の新規採用職員と研修に参加し、相互交流を行います。
新任者研修他ボートレース場の新任職員とボートレースの理解を深めます。
- 《5年目～》 中堅職員研修
女性職員キャリアアップ研修
新任監督者研修
- 《10年目～》 OJT基本研修
新任管理者研修

人材育成を積極的に取り組んでいるため、
個々のレベルアップが図れる環境が整っています。

その他研修

職員の能力開発や安心して働ける職場環境構築のために様々な内容の研修を実施しています。

【令和6年度実施】

コンプライアンス研修・メンタルヘルス研修・ハラスメント防止研修・人事評価研修など

また、広い視野を持ち、主体的に課題を解決する力を身に付けるために外部研修の参加や先進的施設の視察等も積極的に行っています。

